

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①確かな学力の向上のための取組を充実させ、組織的な授業改善を推進する。</p> <p>②農業に関する専門性向上を図る教育を充実させる。</p>	<p>①基礎基本の定着を図り、主体的、対話的で深い学びとなる授業改善に取り組む。</p> <p>②農業クラブの活動を軸に、専門知識の育成を図る。</p>	<p>①-I朝学習を軌道にのせ、検定取得を目標とした指導体制を構築する。基礎学力診断テストの結果を分析し授業力向上に活かす。</p> <p>①-II組織的な授業改善に取り組み、授業時間数の確保、校内研修、研究授業を実施する。</p> <p>①-III図書室の整備を進め、生徒の学習の場としての環境を整える。</p> <p>②農業クラブ活動を推進し、専門性を生かし、各種の発表会へ積極的に参加する。</p>	<p>①-I生徒の検定受験への取組みと、朝学習への能動的な取組みがあったか。基礎学力診断テストで学習力到達Aゾーンの生徒数に増加があったか。DからCゾーン以上に向上した生徒数に増加があったか。</p> <p>①-II生徒による授業評価アンケートで、学力定着の実感を示す設問で肯定的な回答が50%以上あったか。</p> <p>①-III図書館の利用者数が昨年度より増加したか。</p> <p>②県大会以上への出場ができたか。多くの発表会へ参加できたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①豊かな人間性や社会性を培う個に応じた生徒指導・支援体制の充実を図る。</p> <p>②インクルーシブな学校づくりを推進する</p>	<p>①生徒一人ひとりの適性に応じた組織的支援体制、教育相談を充実させる。生徒会、部活動の活動を活性化させる</p> <p>②えびな支援学校と連携した教育活動を推進する。</p>	<p>①-I学校生活アンケートや相談機会を有効活用し、生徒の状況把握、支援に結びつける。スクールカウンセラーや専門機関等と連携して支援する。</p> <p>①-II生徒会部活動の大会等への参加を促進する。</p> <p>②えびな支援学校の教育活動を活かした相互連携事業を進める。</p>	<p>①-I学校生活アンケート(年2回)や、こころと体相談会等を実施し、生徒支援に結び付けたか。スクールカウンセラーと連携した支援ができたか。</p> <p>①-II生徒会部活動の大会参加が昨年度より増加したか。</p> <p>②学校行事等、幅広い分野で、えびな支援学校との連携活動ができたか。</p>					
3 進路指導・支援	<p>①体験的学習を重視し、勤労観・職業観を育成し、進路指導の充実を図る。</p> <p>②社会的自立に向けた教育の充実に取り組む。</p>	<p>①勤労観・職業観を育成するため、産業界等と連携した体験的な学習の充実を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの進路実現に向けて組織的に取り組む。</p>	<p>①-I農業体験活動をより充実する。</p> <p>①-II夏季休業中の2学年で就業体験を実施する。説明会を5回実施し、昨年度より多い参加者を目指す。</p> <p>②進路別説明会を1学期中に4回実施する。生徒一人ひとりの進路希望に丁寧に対応した進路指導を行う。</p>	<p>①-I農業体験の参加者増加がしたか。</p> <p>①-II就業体験の参加者が増加したか。</p> <p>②進路別説明会が計画通り実施できたか。生徒個別に丁寧な進路指導を行い、進路実現が図れたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	①地域や関係機関等との連携・協働による学校づくりを推進する。	①本校の特色ある教育活動を広く発信提供し、地域や関係機関等と連携した教育プログラムの開発を進める。	①-I 生徒会部活動や委員会等による地域との連携・協働活動を積極的に行う。 ①-II 農業クラブ活動等で、地域との連携や協働作業を実施する。販売会などを通して地域の方々との交流を深める。 ①-III HPの更新を迅速に行う。	①-I 地域との協働活動や地域貢献活動、行事等への連携・参加ができたか。 ①-II 農業クラブ活動で多くの行事に参加できたか。販売会を20回程度実施できたか。 ①-III HPの更新を適切に行い、迅速な情報発信が行えたか。					
5	学校管理 学校運営	①すべての職員が組織的に学校運営に取り組む。 ②地域から信頼される学校づくりを推進する。	①事故・不祥事防止を徹底し、信頼される学校づくりに取り組む。 ②安全安心で快適な学習環境の整備をすすめる。	①-I 個人情報の管理を徹底し、事故を防止する。 ①-II OJTの計画的・組織的な展開により職員の実践力の向上を図り、事故・不祥事防止につなげる。 ②-I 農場の学習環境の整備、校内施設等の定期的な点検を実施し、安全・安心な学習環境を整備する。 ②-II 実験実習での事故ゼロを目指す。	①-I 個人情報の管理を適切に行い、業務が事故なく円滑に行えたか。 ①-II OJTを活かし、事故・不祥事ゼロを達成できたか。 ②-I 農場の学習環境の維持整備ができたか。安全・安心な校内環境の整備が行えたか。 ②-II 実験実習での事故ゼロが達成できたか。					